



# 指扇中だより



～WE LOVE SASHIOGI!～

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 TEL 048(624)6234 FAX 048(624)2479

## 『心の色』

校長 おおこうち のりかず 大河内 範一



私が中学3年生の冬の話である。当時、熱狂して観ていたのが『ザ・ベストテン』という音楽番組だった。そして、毎年12月の最終週の放送では「年間ランキング50」が発表されることになっていた。記録好きだった私は、テレビの前に録音機を置き（まだ家にビデオがなかった…）、放送後に聴き直し、ランキングを書き起こしては喜んでいました。

次の日、授業で自習があり、暫くは課題をやっていたのだが途中で飽きてしまった。一番廊下側の席に座っていたのだが、真横の窓の「曇りガラス」がふと目に入った。表面がざらざらしているので、鉛筆で落書きがしやすい。私は学校に持参していた例の年間ランキングを取り出した。クラスメイトも気にしていたので情報発信をしようと思いつき、上位の曲から順番に書き始めた。すると、この作業がとても面白く、結局50曲すべてをぎっしりと書いてしまった。

もうおわかりだと思うが、この行為は実によくない。案の定、落書きはその日のうちに先生方に発見された。そして翌日の朝の教室で、生徒指導バリバリの怖い担任の先生から、前に出てくるように指示をされ、「学級委員のお前が、受験期にこんなことをやって何を考えているんだっ！」と、こっぴどく叱られた。

決して悪気はなかった。むしろ何も考えてなかった。ちょっと人の役に立ったのではと妙な錯覚もしていた。私の中3当時の判断力はこんなものだ。たいした人間じゃないのである。ただ、相当叱られたので同情してくれた友達もいたのだが、自分の愚かな行為で他の生徒から担任が反感を買うのは筋違いだとは思った。

3月になり進路も無事決まり、卒業式直前に「3年生を送る会」が行われた。体育館の舞台では先生方がサプライズで歌を披露してくれて、我々生徒は大喜びだった。近くの女子たちから「ねえ、何か叫んでよっ！」とけし掛けられたので、感謝の気持ちを込めて「まっつあーん！」と、担任の仇名を声高らかに叫んだ。会場から「キャー！」という悲鳴のような歓声が上がり、みんなの感情が弾け飛んだ。そして、大好きだったクラスメイトや先生方との別れが近づいていることを実感した瞬間でもあった。先生方が歌った曲は、中村雅俊の『心の色』。この年の年間ランキング4位になった曲であり、中学卒業の頃の思い出の曲になった。

まっつあん、あの時はごめんなさい。今、一生懸命生きています。私の学校には落書きをするような生徒はいません。素直で立派な生徒ばかりなんですよ！

## 学校だより タイトルの秘密！

学校だよりを御愛読いただき、ありがとうございました。

今年度も、巻頭言（校長が担当する文章）のタイトルは、

① 色に関連する名称が入っている。

② 歌謡曲など、実際に存在している曲名。

という法則でネーミングしていました。3年目も頑張りました！【大河内】

4月号 『すみれ色の涙』（岩崎宏美 / 1981）

5月号 『みずいろの雨』（八神純子 / 1971）

6月号 『赤い衝撃』（山口百恵 / 1976）

7月号 『青空の下、キミのとなり』（嵐 / 2015）

8月号 『青い珊瑚礁』（松田聖子 / 1980）

10月号 『風は秋色』（松田聖子 / 1980）

11月号 『優しい赤』（福原美穂 / 2009）

12月号 『Pearl-White Eve』（松田聖子 / 1991）

1月号 『琥珀色の思い出』（あみん / 1983）

2月号 『萌黄色のスナップ』（安全地帯 / 1982）

3月号 『心の色』（中村雅俊 / 1982）